

2024年度事業報告

1. はじめに

障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法・部落差別解消推進法の人権三法が施行され、8年が経過しましたが、現状においても子どもや高齢者・障がい者に対する虐待や事件は絶えず、日本国内に滞在する外国人に対するヘイトスピーチの問題、さらに、インターネット上での人権を無視した書き込みや拡散等が後を絶ちません。

このような中、令和5年4月1日改正された「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」を活かし、市民が安心して暮らせるよう、人権問題を身近に感じてもらえるような啓発活動を行ってまいりました。

今後とも引き続き、人権三法の周知や課題解消に向け、関係機関と連携を図り、部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決をめざし、人権問題の正しい理解と認識を図るとともに、差別のない人権社会づくりに寄与してまいります。

2024年度事業につきましては、以下のとおり報告いたします。

2. 公益目的事業（公1）

(1) 人権相談事業

目的：生活上の課題を有する市民の方に対し、適切な助言や情報提供並びに事案に応じた適切な機関の紹介、取り次ぎを行い課題解消に努める。

2024年度、相談件数と相談の内訳は、以下の通りです。

月別相談件数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1	1	2	1	2	4	3	2	2	3	3	2	26

相談の内訳（相談1件であっても、相談内容により複数の分野に計上）

（内訳）

A 福祉・健康		B 教育・保育		C 就職・就労		D 人権		E その他	
区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数
障害・病気	4	子育て	0	就職	4	人権	2	住居問題	2
生活困窮	1	保育園児	1	資格取得	0	虐待	0	年金手続	0
医療(介護)	4	奨学金	2	就労環境	2	結婚	0	行政相談	10
計	9		3		6		2		12

(2) 人権国際交流事業

目的：諸外国の人々に対し、互いに異なる言葉、生活習慣、文化等を学び、相互理解を図るとともに、在日外国人の人権について認識を深める。

○「識字・日本語教室学習会」

日時：2024年10月26日 北部市民交流センター ☆参加者数9名
国際識字デーをきっかけに、日本で生活をする外国人や、高齢者、障害のある人の意見を取り入れながら、今後の識字教室のあり方、開催方法などについて、学習会を行った。

(3) 人権啓発・講習事業

目的：会員及び市民を対象とした講習、研修を実施し、人権問題について正しい理解と認識を深めるとともに、それぞれの地域において市民啓発に努める。

○「学習と総会」

日時：2024年6月22日 泉の森小ホール ☆参加者数400名
一般市民を対象に、人権はいのちを守ることであり、すべての人が大切にされるまちをめざした学習会として、講師に山田雅人さんを招き、ひとり舞台である「かたり」の世界～杉原千畝物語～をテーマに講演会を行った。その様子は、泉佐野市の行政情報番組「さのテレ」で放送されることにより人権啓発を実施した。

○研修会・研究集会・学習会への参加

大阪府内外において開催される各種研修会、講習会に積極的に参加して人権問題への正しい理解と認識を深め、今後の啓発活動に活かすとともに、さまざまな人々との交流や交換を図った。

○まなび講座

日時：2024年8月9日 泉の森小ホール及びリモート ☆参加者数300名
教育分野における課題解決のための学習として、会場開催及びオンライン開催で講座を実施した。講師に竹田契一さん(大阪教育大学名誉教授・大阪医科薬科大学LDセンター顧問)から「学習に課題のある児童生徒の特性理解とICT技術の導入について」及び高松崇さん(NPO法人支援機器普及促進協会理事長・デジタル庁デジタル推進委員・京都市教育委員会総合育成支援課ICT専門主事)より「学校におけるICT活用・具体例を通して」の講演を聞き、教育と福祉への理解を深める学習を行った。

日時：2025年3月6日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数60名
長坂小学校6年生を対象に、水平社宣言を通じて人権問題をひもとき、不条理について考え、小学生からの質疑によって、地域の活動や社会への願いなどの話を行い、地域から人権というものを学んだ。

日時：2025年3月12日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数100名
第三中学校の人権学習として、1年生を対象に、「人権フィールドワークと聞き取り学習」を行った。中学校を出発し、旧下瓦屋人権文化センターを拠点に、地域にある福祉施設や共同浴場、お寺などを散策しながら地域の人々の日常に触れ、会話することで、自分達の住む町の新しい発見を行うとともに、人権に対する感覚を身につけた。

日時：2025年3月14日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数100名
人権研修講演会として、講師に岸和田復活教会司祭である石垣進さんを迎え、「宗教者として生きる」をテーマに、教員時代に行っていた人権教育の話や、混迷する現代における宗教の意義から、人権について学んだ。

○泉佐野市青年問題研究集会

日程調整により開催できず。

○泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会研修会

日時：2024年5月14日 泉の森レセプションホール ☆参加者数60名
あらゆる人権問題の解決のため、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実と職場における男性や女性にかかる性別の問題について、弁護士法人フォーラム大阪法律事務所から山岸克己さんを講師に招き「性のあり方をめぐる問題」～LGBT理解増進法が施行され、性のあり方をめぐる問題について～の講演を行った。

日時：2025年1月21日 泉の森レセプションホール ☆参加者数50名
あらゆる人権問題の解決のため、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、講師に一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎さんを招き、「外国人の人権と企業に求められる取り組み」についての講演を行った。

あらゆる人権問題の解決のために、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会の会員及び公共施設に啓発チラシを配布し事業所人権連絡会としての人権啓発を行った。

○機関紙「きずなNo.61」

日時：2024年12月1日発行 市内全戸配布 30000部
泉佐野市人権を守る市民の会と一緒にいった事業を具体的に市民に周知し、人権問題への関心を深め、人権を考える映画会への参加を呼び掛けるとともに、「学習会の報告」と小中学生による人権作文の最優秀賞受賞作品を掲載した。

(4) 歴史研究事業

目的：部落問題について、正しい理解と認識を深めるためには、被差別部落の歴史を学

ぶとともに、被差別部落の歴史をとおして、人権問題について正しい理解と認識を深める。

日時：2024年11月3日 下瓦屋地域周辺 ☆参加者数12名
下瓦屋南地域の周縁をめぐるフィールドワークを実施。地域にある原池から地域を眺め、昔から痕跡を残す建造物や地形から、農村における今と昔を探求し、「村の興りと開発の歴史」について学んだ。

日時：2025年1月10日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数80名
村の歴史に関する史料より、江戸期における「稲倉山入会地」に関わる話から、農業を営む下瓦屋地域の人が、泉佐野市の山間部にある稲倉山とどのように関わってきたかを知り、地域や人々への尊厳とともに人権意識を深めた。

(5) 地域人権啓発交流事業

目的：市内全域、市民を対象として、人権問題について正しい理解と認識を深めるため、文化的行事や、スポーツの集い等を通じて、人権啓発・住民相互交流を図る。

○人権啓発チラシの配布

あらゆる人権問題について取り組んでいることや、部落問題をはじめあらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めてもらうため、南部市民交流センター、近隣の町会及び公共施設等に人権情報のチラシを配布した。

○人権パネル展

幅広く市民の方々と共に人権問題等に取り組んでいくため、公共施設において人権パネル展を開催した。

- ・南部市民交流センター 昭和初期の被差別部落での生活や環境、労働面のパネル展
(2024年8月1日～10日) ☆参加者数200名
- ・生涯学習センター 来館者向けのパネル展「ひとりひとりが大きな力」
(2024年11月22日～24日) ☆参加者数601名
- ・佐野公民館 来館者向けのパネル展「ひとりひとりが大きな力」
(2024年11月26日～28日) ☆参加者数296名
- ・長南公民館 来館者向けのパネル展「ひとりひとりが大きな力」
(2024年11月29日～12月1日) ☆参加者数212名
- ・日根野公民館 来館者向けのパネル展「ひとりひとりが大きな力」
(2024年12月3日～5日) ☆参加者数162名
- ・北部公民館 来館者向けのパネル展「ひとりひとりが大きな力」
(2024年12月6日～9日) ☆参加者数323名

○ぼちぼちサロン

日時：2024年6月8日 社会福祉センター ☆参加者数9名

こころの病を知らない人が多いことに対し、当事者の声を聴くことの必要性と虐待防止研修の義務付けを求めながら、支えがいる人を支える社会づくりなどを課題に意見交換を行った。

日時：2025年2月8日 社会福祉センター ☆参加者数9名

3月に開催予定の精神保健福祉フォーラムに向けて、身の回りであった出来事から問題提起を行い、今後の取り組みについて意見交換を行いながら、近隣精神科病院の実績や事例などの研究を行った。

日時：2025年3月22日 社会福祉センター ☆参加者数28名

精神保健福祉フェスティバルを開催しよう！をスローガンに「市民の共生社会フォーラム」を開催。福祉や人権などの関係者のほか、参加を一般市民にもよびかけ、障害体験について当事者である阪井康哲さんの話を聞き、障害への理解を深め、「市民の精神障がい観を考えよう」をテーマにしたパネル展示も行った。

○反戦の夕べ

日時：2024年8月3日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数70名

反戦と平和を訴えるため、反戦の夕べを開催した。保育園職員による太鼓披露や、模擬店の開催、各種団体による反戦パネルの展示などを行い、地域内外の人々と交流を深めながら戦争は最大の人権侵害であることを学び、平和、人権の尊さを訴え、組織団体の代表による平和アピールを行った。

○オークいきいき祭

日時：2024年10月19日 南部市民交流センター ☆参加者数300名

センター利用者及び市民との幅広い交流を行うため、うまいもんテラスの実施や、各クラブの方々や識字生の人権作品等の展示や日頃の成果を発表し、また、体育館では、施設を開放して行うレクリエーションや体験教室では世代をこえて交流を深めた。

○北部市民交流センターまつり

日時：2024年10月26日 北部市民交流センター ☆参加者数700名

センター利用者及び市民との幅広い交流を行うため、舞台パフォーマンス（太鼓演奏、沖縄三線クラブ発表、太極拳クラブ発表、クイズラリー、クイズ大会・抽選会等）や、クラブ・サークルの体験・展示、模擬店の出店を行い、パープルリボン・オレンジリボンの啓発活動や「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」改正のパネル展示を行い人権意識の高揚と交流を図った。また、模擬店を出店し、ふれあい交流を深めた。

○泉佐野市人権のつどい

日時：2024年12月7日 泉の森小ホール ☆参加者数410名

人権週間事業として、市、教育委員会との共催で、市民及び市内の児童・生徒・保護者とともに人権問題について学習し、日常生活に活かしてもらうことを目的として開催した。第1部は、お笑い芸人である髭男爵山田ルイ53世さんの講演「僕達にはキラキラする義務などない」の講演を行った。

第2部では、小中学生から応募のあった人権作品の中から最優秀作品を、子どもたちが発表を行い、作品を通して人権問題に対する関心を深めてもらうとともに、市民、児童生徒、保護者との交流を深めた。

また、人権作品は泉の森小ホールでの当日展示と、泉佐野市役所市民ロビーにおいても展示を行い、当日の様子は泉佐野市の行政情報番組「さのテレ」で放送されることにより人権啓発を実施した。

○第26回泉佐野市人権研究集会

日時：2025年3月2日 泉の森大ホール ☆参加者数910名

泉佐野市差別撤廃条例を活かしながら「すべての人の人権が守られる泉佐野市」を実現していく為、人権研究集会（izumisano じんけん・わくわくスタジアム）を開催。フリーアナウンサーの山本浩之さんを招き、「いま、守らなければならないこと」をテーマに講演を行った。併せて会場内では、物品販売としてわくわくミニ商店街や「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」のパネル展示を実施した。

○市民の会役員・あいあいクラブ会員合同学習会

市民の会の役員、あいあいクラブ会員及び一般市民も参加し合同で学習会を開き、人権問題についての今日的な学習をするとともに、会員、役員、市民の交流を深め、今後の啓発活動に活かすことを目的に、学習会（全1回）と人権を考える連続映画会（全4回）とを実施した。

日時：2024年7月13日 生涯学習センター ☆参加者数37名

人権問題にかかる今日的課題の学習として、泉南市の国際交流員でペルー出身のゴザロ・カルロスさんによる「LGBTQ+についてもっと知ろう～当事者からの視点&経験～」をテーマに講演を行い学習するとともに、質疑応答などを通じて参加者間の交流も行った。

日時：2024年9月28日 生涯学習センター ☆参加者数45名

人権を考えるための連続映画として「精神」を上映した。地域で精神医療を行うコラール岡山の山本昌知医師とその患者たちの姿を描くドキュメンタリー作品から、精神疾患を患う人への理解を知識を学んだ。

日時：2025年1月25日 生涯学習センター ☆参加者数37名
人権を考えるための連続映画として「標的の島 風かたか」を上映した。米軍新基地の建設、自衛隊配備などが進む沖縄で、平和のために闘う人々を記録した作品であり、戦争と人権について学んだ。

日時：2025年2月16日 生涯学習センター ☆参加者数41名
人権を考えるための連続映画として「戦雲 いくさふむ」を上映した。南西諸島への自衛隊配備やミサイル基地化が進む中で、沖縄の人々の姿を記録した作品で、戦争と人権について学んだ。

日時：2025年3月8日 生涯学習センター ☆参加者数42名
人権を考えるための連続映画として「ワタシタチハニンゲンド！」を上映した。日本の難民政策についてその実態を知り、人権に対する考えを深めることを目的に、作品の監督である高賛侑さんからの講話も行った。

○地区委員会活動

小学校区（13地区）を単位として地区委員会を構成し、各地区それぞれで人権啓発及び交流を図るため、講演会・学習会・住民のふれあい行事等を行った。

・第一地区委員会

・日時：2025年1月31日 西本町会館 ☆参加者数33名
人権啓発資料としてDVD「こんばんはⅡ」（夜間中学）を鑑賞し、令和6年から泉佐野市が開設した夜間中学校についての話を教育委員会の本道参事から話を聞き、質疑応答や意見交換を行った。

・第二地区委員会

・日時：2025年2月6日 第二小学校 ☆参加者数600名
2023年度人権作品コンテストに応募された泉佐野市小中学生の優秀作品を校内にパネル展示し、人権標語を掲載したクリアファイルを児童等に配布した。

・第三地区委員会

・日時：2025年1月18日 旭町会館 ☆参加者数15名
「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」の改正について市職員の鐘井昭広さんから話を聞いた。

・日新地区委員会

・日時：2024年12月16日 ホテルニューユタカ ☆参加者数42名
DVD「サラーマット～あなたの言葉で～」を鑑賞し、多民族共生社会につ

いて学習し、参加者の間で意見交換を行った。

・北中地区委員会

- ・日時：2024年11月15日 岸和田市・四季まつり ☆参加者数40名
DVD「アンコンシャスバイアス」を鑑賞し、日頃からある思い込みや気遣いない偏見などについて学び、意見交換を行った。

・佐野台地区委員会

- ・日時：2024年5月19日 佐野台小学校 ☆参加者数250名
佐野台小学校区の催事に日程に合わせ、人権啓発パネルの展示や啓発リーフレット、啓発物品を配布し、参加者への内容説明を通じて対話することで交流を行うとともに人権啓発を行った。

・長坂地区委員会

- ・日時：2024年10月15日 長坂小学校 ☆参加者数400名
第三中学校校区の「和い輪いまつり」で人権啓発コーナーを設置し、参加者が記入した人権メッセージカードを「人権の木」に貼ってもらい、メッセージを記入した子どもには輪投げを楽しんでもらった。

・日根野地区委員会

- ・日時：2024年11月15日 日根野小学校 ☆参加者数150名
小中学生の2023年人権作品コンテストの受賞作品のパネル展示を行い、人権啓発物品の配布を行った。

・大木地区委員会

- ・日時：2024年11月2日 大木小学校体育館 ☆参加者数70名
大木小学校創立150周年記念式典と大木フェスティバルにおいて、「大木フェスティバル」において、人権啓発作品パネルを展示し、パープルリボン・オレンジリボンの啓発活動を行うとともに、啓発物品を配布した。

・上之郷地区委員会

- ・日時：2024年11月27日 上之郷小学校 ☆参加者数250名
上之郷小学校の地域住民も参加できる「上小まつり」において、小中学生の人権作品コンテストの受賞作品のパネル展示を行った。

・長南地区委員会

- ・日時：2024年7月26日 長南公民館 ☆参加者数30名
長年にわたり地域と交流のある、電動車いすの利用者である佐藤栄男さんと佐

藤さんを支えてきた増住恵さんを講師に「共に生きること」の意味について考え意見交換を行った。

- ・末広地区委員会

- ・日時：2024年11月3日 末広小学校体育館 ☆参加者数250名
自主防災会主催の防災訓練に併せ、「東日本大震災～3.11を語り継ぐ」のパネル」を展示し、震災のむごさと復興の大変さから社会的弱者への思いやりや市民の絆の大切さから人権意識の高揚を図り、人権啓発リーフレットや啓発物品の配布も行った。

- ・中央地区委員会

- ・日時：2024年8月25日 葵町公園 ☆参加者数700名
葵町公園で開催される、「夏の交流会」において、小中学生の人権作品コンテストの受賞作品のパネル展示を行い、啓発リーフレットや啓発物品の配布も行った。

- ・ヒューマンカップゲートボール大会

- ・参加者の減少により中止